



▲瀬戸内海に面している市町村が集まる協議会

梅雨入りしました。雨に打たれていっそう鮮やかさを増す新緑です。地面に吸い込まれていく雨の一粒、一粒がすべての命の源に。穏やかに地面を潤す雨であって欲しいですね。

◆5月31日、大分県中津市で開催された「瀬戸内・海的路ネットワーク」の総会に出席しました。この会は九州から近畿まで瀬戸内沿岸の107市町村が加盟し、地域連携を進めています。播磨町には「東播磨港」があり、普段は主に産業用として利用されています。毎年6月頃に実施する「リフレッシュ瀬戸内」という瀬戸内海沿岸の一斉清掃では新島企業の方々にご協力いただいています。開催地は大分県でしたが、地震の影響で産業・観光業などへの痛手はかなり大きいとのことでした。物資や人的支援だけでなく、経済・消費についても協力できることがあるかもしれません。(ちなみに私たちは日帰りでしたが…)

◆今年も「トライやる・ウィーク」の時期となりました。毎年、中学2年生が町内各事業所で職業体験を行います。今年、播磨町役場には播磨、播磨南、両中学校から4人の中学生が来られました。役場来庁者への案内や、倉庫の整理、選挙事務の準備作業など総務関係を中心にいろいろな体験をしていただきました。そして、昨年から実施している「カメ捕獲作戦」も体験していただきました。これが楽しかったという声も聞かれました。みんなしっかりしていて、これからの進路が楽しみです。各所で実施された「トライやる」での体験が、将来の進路に何らかの意味を持つことでしょう。

◆同時期に、国家公務員初任者研修で3人の方が来庁され、5日間播磨町で研修を受けられました。前途有望な3人の若き官僚たちが、今後それぞれの省庁で活躍され、日本の明るい未来を創造していかれることを期待しています。

播磨町長 清水ひろ子

アカミミガメ防除調査を行いました

すこやか環境グループ ☎079 (435) 2721

生態系などに被害を及ぼすことが懸念される、アカミミガメの防除調査のために、狐里ヶ池に仕掛けた網の引き揚げ体験を5月22日に行いました。応募いただいた親子6組14人が参加しました。講師の方から、アカミミガメの生態、カメの種類、オスとメスの見分け方などの講義を受け、網の引き揚げを行いました。親子ともにカメの生態に興味をもってもらうことができ、体験作業後に引き揚げた網にはスッポンも見受けられました。ため池の生態系維持のため、引き続き経過を観察していきます。



▲カメを間近に見て生態を教わりました

日本非核宣言自治体協議会総会に出席しました

企画グループ ☎079 (435) 0356



▲毎年、参加しています

5月26日に長野県松本市において、第33回総会が開催されました。非核宣言自治体とは、核兵器廃絶や非核三原則の遵守などを求める内容の自治体宣言などを行った自治体のことで、現在、319の自治体が加盟しています。播磨町も昭和57年に「核兵器廃絶のまち宣言」を行っており、非核宣言自治体の一つです。

総会では、「加盟都市が一丸となって、失われつつある戦争や被爆体験の次世代継承に努めるとともに、さらにネットワークを広げ、住民が安心して暮らしていける地域社会の実現のために努力を続けていく」との決議を採択しました。

楽屋裏

今月号の広報はりまでは、夏の催し案内を掲載しました。子どもたちはもちろんですが、サマーフェスティバル、平和記念講話会や展示、防災体験キャンプの冒頭の講演会、ふれあいのまち映画会、学校給食展など、どなたでもご参加いただける催しも多く紹介しています。また、播磨ふれあいの家は、7月1日以降、町民の平日料金がお安くなります。お誘いあわせのうえ、おでかけください。(宮)

ひょうご子育て応援賞を受賞されました

生涯学習グループ ☎079 (435) 0565



▲兵庫県から授与された表彰状

青少年育成のため「子どもいきいき体験隊」を実施され、子育て家庭への支援に貢献された功績により、NPO法人まちづくりサポートはりまがひょうご子育て応援賞を受賞されました。

子どもいきいき体験隊とは、小学生を対象にいけばなや茶道、マジックなど学校や家庭ではなかなかできない活動を中心に、16教室を年間10回実施し、また、夏休みと冬休みには別途で特別教室を開催している青少年育成事業です。

この事業の述べ参加児童数は4,846人になります。



▲開講式の様子

5月21日に行われた「平成28年度子どもいきいき体験隊開講式」で、表彰状がお披露目されました。

第6回播磨町町長杯将棋大会

中央公民館 ☎079 (437) 6980

6月12日に日本将棋連盟理事の井上慶太九段を審判長にお迎えし「第6回播磨町町長杯将棋大会」が開催されました。

東播磨地域を中心に、岡山、大阪、徳島、香川の近隣各府県からの参加者も含めてこれまで最多の計122人の将棋ファンが熱戦を繰り広げられました。



▲熱戦が繰り広げられました

一般の部Aは、國井大彰さんが小学生の部高学年は、岡田昌也さんが優勝され、町長杯を手に入れました。



▲開会式の様子

「はりま風薫るフェスタ」で播磨町消防団女性分団が啓発劇を行いました

危機管理グループ ☎079 (435) 0991

4月29日、はりま風薫るフェスタのステージで播磨町消防団女性分団が啓発劇「救急車が来るまでに・・・あなたにも出来る事～白雪姫編」を行いました。内容は、心肺蘇生法やAEDの使い方についてをわかりやすく解説した劇となっています。

会場からは、内容と演技力に拍手喝采をいただきました。



▲非常持出袋で助かったお話



▲AEDの使い方を楽しく啓発

わんぱくはりまっこ



まさひら 政平
あん 杏ちゃん
(古宮)

いつも元気な杏ちゃん。いっぱい遊んで、たくさんお友達を作ろうね。(父・母より)

※撮影時の年齢です。